

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	平成30/10/26
研究期間	平成33/10/01 まで
研究の名称	潰瘍性大腸炎における高用量5-ASA製剤での寛解導入予測因子の検討
研究対象	当院において高用量5-ASA製剤を新規開始もしくは高用量への増量を行った18歳以上の潰瘍性大腸炎の患者さん。
対象材料	診療記録
対象期間	2015年 10月～ 2018年 9月
研究の目的意義	潰瘍性大腸炎の治療の基本は、5-アミノサリチル酸製剤(5-ASA製剤)で、寛解導入時には高用量での効果が高いことが報告されていますが、重症例では5-ASA製剤のみでの寛解導入が難しく、ステロイド製剤、免疫調節薬、抗TNF α 製剤といった強化療法が必要となる場合があります。実臨床においては5-ASA製剤高用量で寛解導入が可能かどうかを早期に判断することが重要であり、そういった患者さんの臨床的特徴を明らかにすることを目的とします。
方法	当院での潰瘍性大腸炎の初発もしくは再燃例において、高用量5-ASA製剤を新規開始もしくは高用量への増量を行った症例の、年齢、性別、罹病期間、血液検査所見、併用薬などの臨床的特徴について統計学的解析を行います。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 大杉直人 TEL 06-6843-0101